



～子どもも大人も一緒に学校づくり地域づくり～

はたえっこ

糸島市立波多江小学校学校通信

令和7年度 第5号 文責 校長 重富 泰敏

令和7年5月30日

楽しくがんばっています！！「あいさつ隊」

朝、児童昇降口で子どもたちを迎えていると、数人の5年生が昇降口に並んで、大きな声であいさつと一緒にしてくれています。これは、この子どもたちが4年生のときから始まったことです。

あいさつに取り組んだ後に、ながなわ等の遊びを一緒にする姿が見られます。

ときどきあいさつ運動に取り組んだ子も、活動した後、一緒に遊ぶ姿が見られます。

毎月はじめに、支部同協の皆さんがあいさつ運動に立たれていますが、あいさつ運動を自主的に実施している子どもたちを見て「すばらしい！」「わたしたち大人もがんばりたい」というお声をいただきました。

自主的にあいさつ運動を続けている子どもたちのミニ作文を紹介します。

「あいさつ隊長」5年1組 大園さよさん 水永ここなさん

私たちは、4年生の時から毎朝あいさつに取り組んでいます。あいさつ隊長をしていてよかったと思うことは、スーパーや近所の人などに、自分からあいさつをするようになったことです。これからも元気よくあいさつをして、元気よくあいさつを返してくれると、とてもうれしいです。

「あいさつ隊」5年3組 松地さきさん 矢加部さえさん

私たちは、毎朝学校のくつばこげんかん前であいさつをしています。始めたきっかけは、松田先生のていあんです。やっている間に友達もふえ、ふだんからあいさつをすることができています。やってみたい人は、学校のくつばこげんかん前に来てください。いっしょにあいさつがんばりましょう。

「ぼくたちとあいさつ」5年3・4組 森はるとさん 石川ゆうたろう、徳永いぶきさん

4年生のころ、松田ゆかり先生にさそわれて、あいさつを始めました。5年生になってもまだ続けています。最近は、「あいさつをしたい！」と言ってくれる人が多くなってきました。あいさつのおかげで、周りの人にもあいさつができるようになりました。これからぼくたちが卒業しても、他の学年の人などにあいさつを続けてほしいです。

【4年生の時にあいさつ運動のきっかけをつくってくださった 松田ゆかり先生からのメッセージ】

2分の1成人式に向けて決意表明を考えていた4年生の1月、「先生にはあいさつしてくれるけど、子ども同士のあいさつが増えるといいよね。」と話す、学級目標の「あいさつNO.1」を高学年に向けて取り組みたいと、あいさつ運動が始まりました。小雪が舞う日も、雨の日も風の日も、協力し合い、登校してくる全校のみんなに笑顔であいさつをしていましたね。そして、クラスがかわった今も続けている人がいます。

自分で決めたことでも、毎日続けることは本当に難しいことだと思います。松田先生は、あいさつを続けている5年生をととても尊敬しています。

将来、「こつこつ続けていること」がきっと自信につながっていくと思います。このすばらしい取組のおかげで、あいさつをする児童が増えたような気がします。波多江小の児童のためにいつもありがとうございます！



ある日の「あいさつがんばり隊」のみなさん。みんな！ありがとうね！→→

シリーズ波多江②「波多江コミュニティ・センター」

シリーズ波多江②は「波多江コミュニティ・センター（はたえ館）」です。

コミュニティ・センターは系島市に15館あります。

各小学校の校区にあり、公民館時代は、小学校の隣やほんの近くに併設されてました。

いわば、校区・地域づくりの拠点です。

コミュニティ・センターと小学校（子どもたち）との関係についてインタビューしたいと思います。系島市立波多江コミュニティ・センター長 辻 久光 さんにお伺いしました。

【Q1：コミュニティ・センターが地域にはたす役割は？】

A：波多江コミセンは、波多江校区の、まちづくりの拠点（きょてん）です。

「はつらつと たのしくげんきで えがおあふれる まちづくり」を方針にしています。校区の大きな行事である、球技大会・体育祭・ウォークラリー・ふれあい文化祭等への支援を通して、地域の連帯意識を高め、みんなが生き生きと健康的に暮らす、安心・安全な波多江校区にしていくことが役割です。校区のみんな楽しく前進していきます！

【Q2：子どもたちに伝えたいことや、地域の中での子どもの役割とは？】

A：コミセンのグラウンドや広場に、子どもたちがよく遊びに来てくれます。

コミセンの利用者の方々が子どもの様子を笑顔で見守ってくれたり、「大きくなったね～」と声をかけてくれたりしてくれています。子どもたちは校区を笑顔にしてくれます。

子どもたちの姿を通して、大人や地域が会話を豊かにしていく。まさに、子どもは地域を元気にしていくための「かけ橋」のような存在です。

地域の中でも、子ども会や地域の子ども同士のつながりを通して、子どもが育ち合うという大きな役割を担ってくれています。

【Q3：保護者や地域の皆さんへのメッセージ】

A：みなさん！地域と関わることは楽しいですよ！おもしろいですよー！

気軽に参加してみてください。知り合いをつくってみてください。

子育てで悩んだりしていても、きっと地域の人々とのふれあいや行事との関わりの中に、子育てを助ける「ヒント」や「つながり」

「サポート」や「しくみ」がコミセンや地域にはあります！

ぜひ！一歩、地域のつながりに飛び込んできていただけることを待っています。

【さいごに、はたえ館から子どもたちへのお願いです】

◎波多江コミュニティ・センター（はたえ館）は、17：00

（夕方5時）まであいてます。（月曜日がお休み）

コミセンのとじまりやお仕事のかたづけをしめるので、

16：40分（夕方4時40分）には、お家にかえって

もらうように、声かけをしています。協力をよろしく

お願いします。

おそくならないように、

車に気をつけて、安全に家に帰りましょう。



波多江コミュニティ・センター 辻センター長さん



環境に優しい波多江っ子

26日の朝、「校長先生～!ゴミが落ちてたのでひろってきました～!」と、ごみをひろって持ってきてくれました。本当に嬉しかったです😊。

みんなで協力して、波多江小の環境を大切にしていきましょう!「捨てない!持ち帰るからスタート!」